

ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第103号
古牧だより通算197号

地区内在住の 市議と意見交換

課題をともに解決していくことを確認

12月21日(木)に古牧公民館で市議会議員と古牧地区住民自治協議会の役員との意見交換会が開かれました。参加者は古牧地区在住の市議会議員で小林秀子、小泉一真、竹内茂の3氏と住自協の正副会長、各部長、各区長、古牧支所長など24名で、治水、交通事故防止などで意見を交換し、課題などを解決していくために努力することを確認しました。

竹内議員は昨年の10月の市議補選で当選されたため自己紹介をしていただき、小林、小泉の両議員から市政の動向、市議会での議論等古牧地区に関連した事項の説明、報告をいただきました。

その後、古牧地区の懸案事項である北八幡雨水調整池の環境整備について金澤副会長からの説明に対して、長野市では今年1月から5月に滞水地の樹木、低木の伐採、アシ藪の刈払いを19日間実施し、また、大雨に対する対策として吐き出し口の清掃、堆積土砂の測量と除去等についての現状報告があり、今後は浚渫工事の前倒しで工事を実施するとの説明がありました。

地区内の交通事故防止に向けての取り組みでは川端区長から、「ゾーン30」による交通規制と地域パトロール充実の要望があり、「ゾーン30」の実施時期については規制範囲が広範囲のため未定である。地域パトロール



充実では、警察官の同行の依頼があった際には、協力をお願いしていく事にしました。

Mウェーブ西側河川の防水対策では南長池区長から、大雨時には水位が上昇して道路冠水被害が発生しているとの説明があり、下流では排水路拡張工事を進めているが、今後、工事までには時間がかかることから、市議会議員が同行し当面の改修工事などについて市へ説明を聞きに行く事になりました。

その他、青木安全部会長から、交通死亡事故が12月13日古牧地区内で起きてしまった。夕暮れ時は事故が起きやすいため、服装、ライト持参、反射シール等を装備して、事故に遭わないよう注意喚起がありました。また、平林区長から放置空家に対する発言があり、野生動物等の棲家の可能性、樹木の放置、落下物の危険のある場合の対処は、市や支所に相談してほしいとの回答がありました。

毎年このような意見交換会が行われており、少しずつ古牧地区が住み良い地区になって行く事を感じた意見交換会でした。(総務部)

みなさん おめでとう

1月7日(日)に長野市芸術館で長野市7公民館の合同成人式が開催され1,071名(うち古牧地区193名が出席)の新たに成人になったみなさんが参加されました。



川端天神社 お正月行事あれこれ



元旦祭

除夜の鐘が鳴る中新年を迎え、雪が降って足元の悪い中、大勢のご家族、地域の皆さんが参拝に訪れました。



川端天神社は菅原道真公を祭神として祀る神社です。1月3日に合格祈願などを行う登龍門祭が開かれました。

来年、小学校に入学する新入学児童、受験生、地域のみなさんが登龍門をくぐり、それぞれの思いを祈願し絵馬を奉納しました。



座牛

今年は、氏子から菅原道真公にゆかりがある牛の像(座牛)が寄進され、多くの参拝者が座牛をなでていました。

各区でどんど焼き

年明け恒例の行事、「どんど焼き」が古牧地区内各地で行われました。

西尾張部区

古牧地区の各地区で1月7日(日)、恒例の「どんど焼き」が行われました。このうち西尾張部区は八幡中央公園で実施。午前中、地域の児童が地区内の正月飾りを集め、「どんど」を組み上げ、午後には点火。1年の無病息災を願いました。

「どんど焼き」で焼いたお餅を食べると「風邪をひかない」などといわれています。たくさんの方がお餅をアルミホイルで包んで餅焼きを楽しんでいました。中には、家から調味料を持参して、早速、食べている家族もいました。

近年、昔ながらの本格的な正月飾りが減る中、この伝統行事が実施できましたのは育成会、関係各位のみなさまのおかげです。



平林区

平林区では、1月7日午後2時40分から「道祖神祭」の祭事を行い、その「法灯」から「たいまつ」に火をいただき、3時に松飾り、だるま等で子ども達と育成会で造った「やぐら」に点火をしました。区に災いが来ないように、みなさんが健康で過ごせるように、祭事での神供のお酒・みかん・スルメ・さつまいも・落花生の振る舞いを受けながら、各人が自宅から持ち寄った餅・じゃがいも・マシュマロなど、どんど焼きのおき炭で焼いた物を食べて大勢が楽しみました。



今年をよい年に!

第6回

出初式と新年祝賀会

新たな年の6日(土)、平成30年の長野市消防団長野第6分団の出初式と古牧地区住民自治協議会の新年祝賀会が古牧公民館で96名の方が出席して開かれました。

第1部の出初式は、午前中の長野市出初式での市中行進の後での参加で分団長以下25名の消防団員が出席し、伊藤芳明分団長、宮島俊文住自協会長のあいさつの後に代表の方々により、ダルマに気合と共に目入れをして無火災祈願が行われ、続いて、勤続25年、15年、5年の各団員への表彰伝達があり、消防法被襟元の金筋と賞状が授与されました。

竹内茂市議からの祝辞、団長から団員紹介をして出初式が閉会しました。

第2部は、新年祝賀会が行われ、長田元行総務部長から「日頃の消防団活動には大変感謝をしています」と労をねぎらうとともに、地区の問題を一つ一つ解決して「継続は力なり」の行動でやっていきたいとあいさつがあり、来賓を代表して小泉一真市議から「北八



幡川では被害が出てしまった。来年度、地区への説明をして改修などに取り組んでいく」との前向きなあいさつがありました。

伊藤治通住自協顧問の乾杯音頭で歓談に入り、みなさんそれぞれ笑顔で和やかに杯を酌み交わしました。

楽しく時間を過ごし、最後に猪股正由長野市消防団長の万歳三唱などが行われ閉会となりました。(総務部)

ひとり暮らし・高齢者のつどい

12月18日(月)にひとり暮らし・高齢者のつどいが古牧公民館で開かれ、42の方が参加しました。季節がら家にこもりがちな方たちも、この日はみなさんで楽しい時間を過ごしました。



折り紙の「雪の結晶」づくりを教えていただき、仕上がったときは、「できたできた」と参加者の声が弾んでいました。

その後の食事会では、ボランティアのみなさんの手作りの料理を美味しくいただきました。後半はアコーディオンに合わせ、みなさんが好きな歌を何曲も歌って楽しみました。

最後にサンタクロースが登場しお菓子を配りました。みなさんには大変好評でした。

(福祉健康部)

みんなで たすけあう地域を!

1月25日(木)に古牧公民館で福祉部会主催により、「みんなで たすけあう地域を!」をテーマに50名の方々が参加して、わたしたちのまち会議が開かれました。

会議では、報告として実践発表などがあり、その後グループワークが行われ、「助け合い体験ゲーム」のカードを通して助け合いの疑似体験をしました。

地域での助け合いのニーズと担い手(地域たすけあい事業協力員)の掘り起こしが大事



であることが確認されました。

会議終了後、早速、たすけあい協力員に登録していただいた方もおりました。

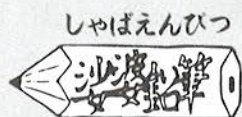
みなさんのご協力をお願いします。

地域たすけあい事業の協力員さん募集

現在、協力員さんを大募集しております。

古牧地区にお住まいの方で、この事業に興味のある方、ご連絡をください。

お問合せ先 ▶ 古牧福祉サービスセンター ☎244-5522
▶ 古牧ボランティアセンター ☎244-8159



地域のみなさんに支えられ、毎日をくらしています。できるかぎり地域とのかわりは持ちたい。人は1人では生きていくことはできないと思います。振り返ればいろいろなことがありました。

共働き。私はほとんど家におらず、子どもたちは保育園と妻にまかせっきり。そんな妻や子どもたちを地域の方々が支えてくれました。野菜などを届けてくれた大家さん。子どもたちをあぐらをかいたヒザの中に入れ、テレビを見せてくれたおじいさん。子どもたちを代わるがわる肩車をし、駐車場を走り回ってくれたおにいさん。こんなこともありました。民生委員さんが「母子家庭ならあの家しかない」と家に……。

病をして3年をへて職場復帰し古牧地区へ。この地でリハビリがてら人の役に立てばと、雪かきボランティアに登録しました。それがご縁で住民自治協議会の役職に。基本的に人とのつながりは嫌いではないのでしょうか。地域の行事にもカメラを持ってなるべく出かけます。多くの方に「写真のおにいさん」「カメラマン」などと声をかけられます。うれしいことです。

妻はいいます。「あなたはすごく大きな財産を持っている」と。私もそう思います。みなさんの役に立っているのか、ご迷惑をかけているのかはわかりません。しかし、門戸を開いてくださっている方々に感謝です。居心地がいいというか、充実感があります。「人は城」 (原 広美)



古牧地区の世帯数と人口

30年1月1日現在

11,304 世帯

26,772 人

(男 13,168人 女 13,604人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 宮島 俊文
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷